



平成27年

年の瀬を迎えて

岩手県学生会館

館長 佐々木 裕二

4月に新入寮生を迎えてスタートした平成27年度も、もう12月。それぞれの、また数々の出来事があったことを覆い隠すように年の瀬の慌ただしさが始まっています。巷ではハロウィーンの次はクリスマスだとばかりこの季節の定番に乗り遅れまいとする人々の無思考的共同作業もきつと進行しているのでしょうか。呆けていたら楽しめないぞとでも言わんばかりの脅迫めいた雰囲気は漂っています。それに乗る人、乗らぬ人。時に楽しみ、時に目をそらす。賢く生きることこそ肝要なれど、どこか一人孤高を保つことの難しさが人生にはあります。

さて、遅ればせながら「会館だより」第2号をお届けいたします。今年を振り返って、館内で行われた行事をまとめて取り上げてみました。4月の歓迎会、7月の芸術鑑賞会(桂枝太郎師匠)、10月の自治会総会、そして11月に行われた現・旧寮生交流会です。特に旧寮生交流会は次年度に実施予定でしたが、OBの皆さんの有り余る熱意で今年度開催となりました。もともと次年度開催はなしになったかという、そうではなく、交流会の最後には継続開催!と声高に叫ばれていました。

次に、昨年に引き続き今年も夏休み等を利用

して海外へ留学した方々がいました。一部の方ですがその体験記を寄せていただきましたのでご紹介いたします。海外で何を学ぶのか、何を感じ、どう考えるのか。人それぞれに得るものに違いはありましようが、最終的には自己を見つめることにつながっていくものと思います。得たものを生かしながら、今後の自分作りに役立ててほしいものだと思います。皆さんも他者の経験を自分のものとし、自己研鑽にいいよ努めてほしいと願っています。

もう一つ、前号同様文芸部門でエッセーと短歌を寄稿していただきました。ご紹介いたします。皆さんもよくご存じの方だとは思いますが、原稿料なしでお願いできました。

4月当初の修学旅行的楽しさも時が経つにつれ薄れ、それぞれの目指す道に向けて頑張りが始まった新入寮生。一人一人の個性が表に出てきたように思われます。己の信じることに従い頑張ってください。また、入寮当初から手のかかるまるで幼稚園児のようであった現2年生。一部を除き落ち着いてきたようです。これからが大学生活の踏み張りどころとなるでしょう、自分を見失わず大きくなってください。そして3年生の皆さん、勉強に就活にと人生最大のチャレンジの時がやってきます。悔いの残らぬよう学生生活最後のまとめをしっかり頑張ってください。4年生の皆さん、就職の決まった人もこれから人も学生生活最後の3ヶ月、大いに楽しんで(苦しみが多い?)ください。社会人になると思うように時間が取れないことだけは確かですからね。

来年も良い年でありますように。

イギリス研修を終えて

岩崎 朱里

夏休み期間である八月から九月にかけて、イギリスのウォーリック大学へ語学研修をしに行ってきました。約一か月間ホームステイをし、語学だけでなくイギリスの文化と歴史を学ぶことができました。

ウォーリック大学は、イングランドの中央部にあり、ロンドンから電車で約一時間で行くことができます。市街地からは少し離れているため、キャンパスはとも広く、多くの学生がいました。大学では、現地の先生方から英語を教わり、一緒に研修に来た私の大学の仲間と共に、日本とイギリスの様々な違いを発表するプレゼンを行いました。プレゼンの準備の際、調査のためにウォーリック大学の学生達に尋ね歩き、少しの時間ではありましたがイギリスの学生と直接会話ができたことは、とても貴重な経験になりました。

ホームステイ先は、大学からバスで二十分程の、小さな街にありました。夕方になるとほとんどのお店がその日の営業を終了してしまうため、不便なこともあります。教会や広々とした公園があり、とても素敵な街でした。

ホストマザーはとても優しい方で、よく話しかけてくれました。初めは日常の小さなことを話すだけで精一杯でしたが、日々話すことが少しずつ増えていき、家族や友人について伝えることができました。休日は家族と出掛け、多くの思い出を作ることができました。

イギリスに滞在中、様々な発見がありました。イギリスはとても自然を大切にしている国です。週末は、緑溢れる公園でゆったりと過ごす家族が多く、どの家の庭も素晴らしいものでした。また、家にいてテレビを見ているときに気づいたことは、ヨーロッパだけではなく、世界中の情報が頻繁に報道されているということです。日本では自ら知ろうとしなければ手に入らない情報が多くあることにショックを受けました。

今回の研修は、今までの自分を振り返り、今後どのようにしていきたいかを考える良い機会となりました。経験を生かすことができるよう、頑張りたいと思います。

自治会総会



平成27年度岩手県学生会館自治会総会が開催されました。旧寮長は2名、男子が永島涼太さん、女子が江幡なるみさんでした。二人が取り入れたハロウィーングッズは食堂の雰囲気を変えてくれました。そしてクリスマスツリーは今年も輝いています。お二人のご苦勞に対し、感謝いたします。新寮長は小守潤さんです。自治会もいろいろ

課題を抱えていることと思いますが頑張つて皆さんをリードしていつてほしいと思います。



今年は大勢の方の参加が見られました

新寮長から

この度、岩手県学生会館の寮長となりました、小守潤です。

先日の学生会館交流会では、寮長として至らないところも多々ありましたが、寮の皆さんのご協力のおかげで、大勢のOB、OGの方々と交流することができた良い会になったと感じております。

今後も、学生会館の中での交流をより広く深いものにできるよう精進していきたいと思っています。皆さんも寮生活で不便に感じることや、やりたいことなどがありましたら遠慮なく僕に伝えていただけると幸いです。これから一年よろしくお願ひします。



随筆

浅 薄

三 船 恭太郎

朝として横断歩道において信号無視をする人を見ない朝はない。誰しも「そもそも赤信号は事故を避けるため、だから車が来ていなければ渡ってよい」と言い訳しつつ渡ってしまうことがあるだろう。私自身もそうだ。だがそれは浅知恵というもので、赤信号でも渡ってよいという判断を下し得るのは、「車が来ていない」という実に覆されやすい根拠からだ。気づいていないだけで、すぐそこまで車が来ていたということは少なくないだろう。故に、「青の時は通ってよい、赤の時は通ってはいけない」というところまで単純化して、歩車共通のルールとしているのではないか。

かかることを考えつつ教室に入る。この授業では、自己紹介をし、一週間にあった出来事を話し、大袈裟に頷き、相手をなるべく褒めよという。多くの場合、学生同士はお互いに偶然同じ班に振り分けられただけの人間という以上の関係を認識しあわないだろう。それにも関わらず、コミュニケーションのために偽れというのか。それで何とするのか。特にへらへらとして、浮ついた空気を醸成している三人組の茶色い後頭部をねめつける。

苛立ちが加速する。そのうち、「仲間や友達というのはもっと貴重な扱いをされるべき言葉ではあるまいか。同じ教室に振り分けられただけの人を指すのに使つてよいのか」という小学校以来の疑問がまたも頭を擡げる。本当は私が真面目に

受講していればそれでよく、他には何もないのかもしれない。しかし、そこまで割り切れるような大器は持ち合わせていない。我ながら厄介な性格である。

ようやくその授業が終わり、昼食を摂っていると話しかけてくる者がいた。語学のクラスが同じであることは、私にとってはイヤホンをしている人間に話しかけて何を聞いているか問うついでに自分の好きなグループを宣伝していくことを可能にする理由にならない。

一体私は、関心のない人や物に対して、あまりにも徹底的かつ露骨に無関心でありすぎるのだろうか。恨みを買うことをあまりにも何とも思っていないのだろうか。広く浅く、ということを軽んじすぎているのか。自分と異なる層の人と話を合わせることは、果たしてどこまで必要なのか。

そうした問いは、大体的場合、会館に帰って風呂に入ると無視できる。考えるのをやめてしまうのはいかにも拙いが、深く考えても得られるものがないのである。自ら浅薄に堕するようだが、能天気な風呂に入つてリラックスするほうが利益が大きい。偉大なるかな自宅の認識、偉大なるかな風呂。



優しい心遣いも

短歌

連作 「この街を」

谷村 康太

でらでらとネオンは街に降り注ぎ

昨日も夜はあつたのですね

人がまだ動いていない街だけど

轍のついた道路がまぶしい

街灯に餃子の皮はへばりつき

この街はまだ生きてると知る

シャワーからの水の流れる音たちが

へそから尻へと渡れば朝です

新聞のぷらりとめくれる音がたち

今日は今日へと姿を変える



今年も灯がとりました

平成 27 年を振り返る



歓迎会

最初は緊張？次第にうちとけて



寮長さん方、ご苦労さまでした

役員の方々とも このとおり



岩手県唯一の真打 迫力に引き込まれました

夏 休 前 慰 労 会

芸術鑑賞会（桂枝太郎師匠）

奥州市衣川区出身



最初は県から I ターンの説明会



師匠も入っての懇親会



後援いただいた後藤さんに感謝

現・旧寮生交流会



最初はパネルディスカッション。社会人として現在の様子や、寮生時代何をしてあげばよいのか等を熱くお話してくださいました。

後は楽しく交流



残業 200 時間！

是非、海外へ



平成 21 年、23 年、24 年、25 年、26 年度
卒寮の皆様お疲れ様でした。また来年も？

会館からの連絡

○冬季休業について

12月28日(月)～1月6日(水)までが冬季休業となり、管理業務はお休みとなります。また、前日の27日は日曜日ですので食事の提供はありません。ご注意ください。入浴時間等の制限は後日貼り出します。次に留意事項を記しますのでご協力ください。

- 1 帰省する前に届を出すこと
- 2 各部屋の整理整頓、大掃除を行うこと
- 3 忘れずにゴミを出していくこと(特に食べ物、飲み物等は必ず励行)
- 4 不要な電源はコンセントを抜いておくこと
- 5 年末年始でも郵便物等は配達されます。下足箱の上段は必ず空けておくこと(スリッパ等を入れておかないこと)

○入浴について

新しいろ過機に変えて快適に入浴していることと思います。しかし男子の浴槽に白濁があらわれ始めています。これは明らかに時間外入浴が原因です。夜間のろ過機の稼働は衛生上必要なためです。それを取り違えて、温かいから入ってもいいんだと思っている人が白濁の原因となっています。今後白濁が出てきた時は、即刻水を抜きます。当然その後は

浴槽を使うことができません。衛生上必要なことですのでご理解ください。寒くなって浴槽に浸かることが多くなっていると思いますが、皆さんで快適に入浴できるよう利用上のマナー(特に体を洗ってから入るなど)、制限時間を守ってご利用ください。また、不心得者を見たら同じ寮生としてお互い注意しあつて欲しいものだと思います。

○会社説明会について

色々動きのある就活ですが、当会館では昨年度2月に実施した会社説明会を今年度も実施いたします。日にちは2月13日(土)午後です。今年度参加していただく企業は岩手銀行、岩手医科大学、シグマソリューションズの3社、そして岩手県、岩手県警からもそれぞれ人事担当の方が説明に来てくださいます。詳細は後日発表しますが、せっかくの機会ですので、該当学年の3年生の方だけでなく、興味のある方は学年は問いませんので参加してほしいと思います。また、大学の同郷の学生諸君にも声をかけてみてください。参加可能です。できるだけ大勢の方々に参加していただきたいと思います。

○平成28年度新入寮生募集について

会館では平成28年度新入寮生を募集中です。既に東京面接で4名の方の入寮が決まりました。これから盛岡での面接を中心に今年の定員、男子約20名、女子15名を選考することになります。皆さんの後輩、知人で、東京で修学する予定の方がおり

ましたら、ひと声かけていただきたいと思います。

編集後記・館長雑感

この頃の学生は大変忙しい。学校での授業はもちろんのこと、部活、サークル活動、そして何よりアルバイトである。個人の時間が取れているのだろうかとか心配になるぐらいだ。ちなみに、私などのことを振り返ってみれば、まさしく小人閑居して不善ばかりをなしていた。却つてそのお蔭で様々な経験ができたような気がするが、今ではそれもノスタルジアが過ぎると言われるだけだろうか。

学生が忙しいというのは大変結構なことではあるが忙殺という言葉もある。忙しきゆえになすべきことがおろそかになるということもあるであろう。学生の本分—なんであるかが問題だが—を忘れずに頑張ってもらいたいものだ。

さて、今号では海外留学の経験の原稿が一つ、間に合わない事態と相成りました。次号でご紹介できればと思います。

保護者の皆様には一年間お世話になりました。来る年もよい年でありますよう祈念申し上げます。

佐々木

発行元

公益財団法人岩手県学生支援会
岩手県学生会館

同 学生自治会

住所

東京都豊島区要町2丁目5番5号

電話

03-3972-4783